

## 竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



## 竹の子会会報

No.588

竹の子会総務委員会

平成29年7月13日

# 第61期 終了のあいさつ



第61期  
会長  
林 優文

平成28年7月1日よりスタートしました第61期が6月30日をもって無事に終わることができました。これも会員の皆様、特別会員の皆様、関係団体の皆様のご理解、ご協力、ご支援があつてのことであり感謝の言葉しかございません。

今期スローガンを『原点回帰～伝統と革新を融合させて新たな一歩を!～』と掲げ現会員42名のメンバーで活動してきました。

私は当初より今期は大垣竹の子会の活動すべてを見直し、今の環境に合った事業を考えていく時間を設け、さらに会員には、自分自身なぜ大垣竹の子会に入会したのか、なぜ活動するのか、何をしたいのかなど考える時間を持ってもらいたい、さらには自分自身を振り返って、日々の活動をしてもらいたいと話をしてきました。

そして実際、役員会の場合などでは、会員同士で議論し合い、また会員1人ずつ自分自身の考えを述べ、他の会員の考えを聞く意見交換会の場を設けました。時には特別会員の皆様とも交流の場を設けさせていただき、会員の考えを聞いていただき、また貴重な体験話を聞くこともでき、私自身も非常に勉強になりました。参加した会員にとっても大変重要な体験となったと思います。だんだん会員1人1人、ただ事業を行っていくのではなく、事業の目的をしっかりと考えて事業に取り組めるようになってきたのではないかと考えております。少しでも来期以降活躍する会員の活動のきっかけとなれば良いかと思っております。

会員の皆様は、全員与えられたポジションで想像を超える力を発揮してくれました。昨年4月より1年間大垣市青年のつどい協議会の会長として大垣の青年団体の

先頭を走り続けてくれた山下会長、それを支えてくれたつどい出向メンバーや協力してくれた会員の皆様。また、交通遺児を励ます事業『夏のつどい』、『交通遺児クリスマス会』を大いに盛り上げてくれた名和委員長をはじめとする委員会メンバーと参加してくれた会員の皆様。皆様、大垣竹の子会という存在を非常にアピールしてくれたと思います。また、会員の教養を高める講師例会や他団体との交流の場を設けてくれた交流会、会員だけでなく家族間の親睦を深めてくれた家族親睦会など様々な事業を企画実行してくれました。

昌原青年会議所のパク会長は突然の訪問にも非常に温かく迎えていただき、良き仲間がいることを再認識できましたし、改めて大垣竹の子会と昌原青年会議所の関係の深さを知ることができました。

来期私は卒業期を迎えます。少しでもこの大垣竹の子会に恩返しができる様、三島会長予定者を支え、若い会員の皆様にとって良きアドバイザーとなるように過ごしていきたいと思っております。

最後になりますがご支援、ご指導、ご鞭撻いただきました諸先輩方と関係各位の皆様、本当にありがとうございました。また1年間お付き合いいただきました会員の皆様、本当にお疲れ様でした。そして、本当にありがとうございました。



# 第61期 卒業生あいさつ



第48期 入会  
大橋 邦司

第48期松尾伸之会長の下、25歳で入会いたしました大橋邦司です。  
第48期渡辺哲也奉仕委員長の下、竹の子会の楽しさを学ばせていただきました。第49期近藤洋玄親睦委員長の下、竹の子会の絆を学ばせていただきました。第50期浅野秀浩情報発信委員長の下、竹の子会の各事業への強い想いを学ばせていただきました。第51期清水哲太郎国際交流委員長の下、竹の子会のスケールの広さを学ばせていただきました。第52期竹中武



第49期 入会  
今津 洋平

49期入会の今津洋平です。大垣竹の子会に13年間という長きにわたり在籍をさせていただきました。誠にありがとうございました。多くの方に出会い、学び、私自身として非常に良い経験をさせていただいたと感謝しております。  
大垣竹の子会では、様々な考えを持った会員が集



第50期 入会  
松田 年雄

第50期入会の松田年雄でございます。12年間大垣竹の子会に在籍させていただき、ご心配をおかけした方もお見えになるかと思いますが、この度無事に卒業を迎えることになりました。今日まで支えていただいた諸先輩方並びに現役会員の皆様には、改めて感謝申し上げます。

さて、入会当初を振り返りますと50期金森久会長にお声をかけていただき入会いたしました。当時は厳しい先輩や気持ちの熱い先輩が数多くお見えになり、私のような右も左もわからない未熟者がこの先務まるのかと不安でした。しかし、会の事業に積極的に参加することで顔や名前を覚えてもらい人間関係ができ、時には厳しいご指導をいただいたことで自分が少しずつ成長していくことができました。

そして、月日と共に仲間が増え、先輩方から可愛がっていただいたこと、温かく見守っていただいたおかげで今日まで続けてこられたのだと思います。

士渉外委員長の下、竹の子会の力強さを学ばせていただきました。第53期は、自分が親睦委員長として1年間勤めさせていただきました。親睦委員長として学ばせていただいたことは、竹の子会の厳しさでした。

第54期以降は、諸事情で参加する機会が減ってしまい、現会員の皆様との交流がほとんどない状態になってしまいました。本当に残念でなりません。

実働は、最初の6年間でしたが、色々な方々と出会えたことは本当に感謝しております。本当に、本当にありがとうございました。

まり、意見を結集し、より魅力的な良い事業・組織を作ろうと努力する。そして、その中で自分自身も成長を遂げていくのではないかと思います。大垣竹の子会は皆、助け合い、人を思いやり、優しく接することのできるチームだとつくづく思います。それこそが大垣竹の子会の良さだと感じています。

最後になりますが、大垣竹の子会と皆様の益々のご活躍とご発展を心より祈念し挨拶とさせていただきます。13年間本当にありがとうございました。

活動を通じて私の中で一番印象に残っているのは、国際交流委員会です。ここ数年は、時代背景もあり子ども同士の交流が上手くできておりませんが、53期から4年連続で国際交流委員会を受け持ち、56期多賀久会長の下で、副会長を務めさせていただいた時は、多くのことを学び体験させていただきました。国や文化、言葉が違ってても本気を伝えれば気持ちを通じ合い、そこには友情が生まれ仲間になれるのだと。また、子供たちが異国の文化に触れることにより短期間で成長し、その成長を見届けられる楽しさや数々の感動に携われたこと。竹の子会に入会していなければできない経験、心遣いや気配りなどの人として大切なことを教えていただきました。

今後は、この感謝の気持ちを忘れず竹の子会での経験を生かし会社の発展と先輩方からいただいた恩を少しでも返せますよう、社会貢献などに努めていく所存でございます。

最後になりますが、会員の皆様のご成長とご活躍を心より祈念申し上げ卒業の挨拶とさせていただきます。12年間本当にお世話になりました。



第51期 入会  
米山 佳孝

第51期に入会させていただいてから11年、たくさんの仲間と出会い貴重な経験をさせていただき、無事に卒業を迎えることになりました。これも皆様のおかげであることに、心より感謝申し上げます。

私が竹の子会に入会したのは、矢野聡先輩からのお誘いがきっかけでした。入会してからは、副委員長、委員長、副会長、ゴルフクラブ幹事、つどい出向と色々な経験をさせていただきました。

特に思い出深いのは、第58期國枝会長のもと「一



第53期 入会  
高田 健史

第53期入会しました高田健史です。9年間この竹の子会でお世話になりましたが、なかなか委員会やいろいろな行事に参加できなかったのも、申し訳ないと思っています。しかし、たまに参加させていただいた時には、会員の方々が優しく接してくれたので、自分

の居場所がある雰囲気を作ってくれたので、大変



第53期 入会  
沼波 周蔵

53期入会の沼波周蔵です。9年間の竹の子会での歩みでしたが、多くの諸先輩方や、現役会員の皆様のお力のおかげで無事卒業することができ、誠にありがとうございます。

9年間の活動の中で、委員長3回、副会長1回、そして大垣市青年のつどい協議会の事務局長を務めさせていた



第54期 入会  
伊藤 仁志

54期入会の伊藤仁志です。純粋に、地元で何かボランティアがしたいと気軽な気持ちでネット検索し、竹の子会の事務所に電話したのが始まりでした。随分想像していたボランティアとは違いましたが、人生の中でも大きく成長できた実りある8年間でした。

一番の思い出は、昌原との交流、市民文化公演会のそれぞれの委員長をさせていただいたことです。

韓国には全く興味のなかった私ですが、2回も子供たちと韓国へ行かせていただきました。異文化と

致団結我ら竹の子」をスローガンに掲げ副会長として、教養、長期計画委員会を担当して、この1年間は会の運営と委員会との繋ぎ役に徹して人間関係の難しさを知ることができました。私がこの経験を通して、竹の子会とは本当に情熱ある人達の集まりで、行動力、集中力が素晴らしく、また泥臭いことでも平然とやっつてのける義理人情に厚い会だと感じました。

現役会員の皆様、色々な経験をして自分自身の財産を増やしていただき、仕事、家庭、竹の子会と盛り上げていただきたいと思います。

最後になりますが、11年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

有りがたかったです。そうでなければ、最後まで続いていけなかったと思います。

この竹の子会でいろいろな出会いや経験をさせていただきました。そのことを生かして今後もさらに頑張っていきます。今まで本当にありがとうございました。これからの竹の子会がさらに発展していくことを祈っています。

だきましたが、多くの仲間にも助けてもらい、無事に終えることができました。本当に、ありがとうございました。竹の子会での活動の中で学んだことを、今後の人生に生かし頑張っていきます。

今後とも、大垣竹の子会の益々の躍進があることを祈念いたしまして、卒業のあいさつとさせていただきます。9年間ありがとうございました。

の交流、そして子どもたちのたくさんの笑顔は一生忘れません。

市民文化公演会では、大垣城ホールをいっぱいにすることはできませんでしたが、やりきった達成感を得ることができました。振り返れば、苦勞した分、大変な思いをした分、一番楽しかった。そう思います。

現役会員の皆さん、今後もやりがいのある事業を続けて作り上げていき、魅力ある大垣竹の子会にしてください。8年間本当にありがとうございました。



第56期 入会  
高木 明弘

56期に入会しました高木明弘です。6年間の竹の子生活を、皆さんに支えていただきながら、無事に終えて卒業することができ、ありがとうございました。正直なところ、入会時はあまり積極的に活動に参加することがなかったのですが、それでも会の皆さんに声をかけてもらいながら活動に参加していく中で、徐々に繋がりが深まり、楽しい時間を過ごすことができるようになりました。

こんな私ですが、卒業期の今期61期には事務局長に任命され、先輩方や常任の皆さんから叱咤激励さ

れながら1年間濃密な時間を過ごすことができ、より会に関わる中で、様々な経験を積むことができました。

竹の子会で活動することでできた経験や、出会った仲間が、これからも財産になると思います。会員の皆さんには、色々とは忙しく大変だと思える時もあるかと思いますが、負担と思って過ごすのはもったいないですので、楽しく前向きな気持ちで活動して、充実した青年期を送っていただきたいと思います。

最後になりますが、大垣竹の子会の発展と会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、卒業の挨拶とさせていただきます。6年間ありがとうございました。



第57期 入会  
三宅 一彰

57期入会の三宅一彰です。5年間という短いような、長いような竹の子会の活動でしたが、私にとってはとても内容の濃い時間を過ごさせていただきました。

今日まで支えていただいた会員の皆様、諸先輩方にあらためて感謝申し上げます。

青年活動の素晴らしさ、また、仲間との友情をこんなに体験できるのは「大垣竹の子会」の素晴らしい伝統ではないでしょうか。

入会させていただいてから思い出に残る活動は、書き切れないほどありますが、共に汗を流し、苦労し考えた数々の事業を卒業してからの日々に思い出し、これからの糧にしていきたいと考えております。

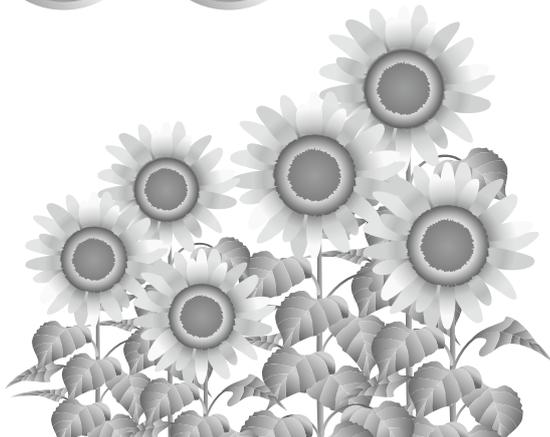
中でも60期の記念事業「竹の子フェスタ」を多くの会員と共に作りあげたことは、私のかけがえのない財産になっています。「努力すれば必ず報われる」この言葉のとおりだと思っています。

現役会員の皆様もどんなことでも、どんな形でもいいので、一生懸命、今しかできないことを精一杯行えば、きっと皆様の財産になってくれると思います。

現役活動を終える寂しさはひしひしと感じていますが、これからの会員の皆様がさらなる新しい竹の子会を創りあげていただけることに期待しています。

本当に素晴らしい5年間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

## 7 8 月の予定



### 例会(通常総会及び総会懇親会)

日 時：平成29年 7月21日 (金)  
場 所：大垣フォーラムホテル

### 水門川万灯流し

日 時：平成29年 8月5日 (土)  
場 所：水門川一帯

### 例会(交通遺児夏のつどい)

日 時：平成29年 8月20日 (日)  
場 所：鈴鹿サーキット